文化財 せんだい

No. 103
平成24年（2012年）7月発行

仙台市教育委員会文化財課
仙台市青葉区国分町三丁目７番１号
〒980-8671　Tel.022-214-8893

仙台藩天文学器機が国の重要文化財に答申
渾天儀・天球儀（大）（小）・象限儀の４点

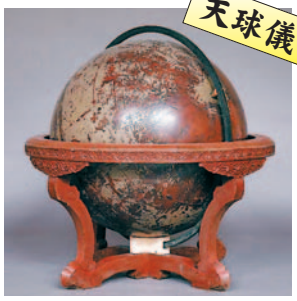
指定を受ける天文学器機は，昭和23年に伊達家の倉庫から発見されたもので，その後仙台市天文台が譲り受けて現在に至ります。

これらの観測器機は，江戸時代の仙台藩の天文学の実態だけでなく，当時の天体観測の精度などの状況を伝えるものとして，歴史的・学術的に非常に価値が高いものです。

渾天儀は，日本に現存する渾天儀の中で，実際の天体観測に使用された唯一のものです。

観測用とされる理由は，青銅で作られていて丈夫だということ，環の直径が約１ｍもあり観測に使用できる大きさだということ，さらに環に刻まれている目盛が，天体の位置を精密に測ることができる高精度のものであることが挙げられます。

環の一部には，仙台藩天文方として活躍した「多植茂蕃（戸板保佑の号）」，製作者である「藤 廣則」，製作年代「安永五年」と刻まれています。



天球儀（大）の特徴は，環に刻まれた高精度の目盛りで，渾天儀の環と同様であることから，渾天儀と同じ時期に作られたと考えられます。

天球儀（小）の球体表面には，「安永六，七，八，十年」と書かれており，安永年間（1772 ～ 1781年）渾天儀と同じ頃に使われていたと考えられます。

象限儀は，製作者や製作された年代についてはっきりしたことは分かりませんが，使用された年代が推測できる江戸時代の記録が残っています。その記録には，嘉永４年（1851年）に“象限儀を使用して北極星の高さを測った”とあり，これにあたると考えられます。

象限儀には，観測する際に正確に器機を設置するための装置や，星の位置を30″(秒)まで測ることができる目盛りがあり，渾天儀と同じく高精度の器機であることが分かります。

本物を見に行こう！

これらの天文学器機は、仙台市天文台の展示室で見ることができます。
ぜひこの機会に仙台市天文台へ行ってみましょう！

仙台市天文台　仙台市青葉区錦ヶ丘９－29－32
TEL：022－391－1300　URL：www.sendai-astro.jp

古墳時代の王の証

春日社古墳出土の革盾などが仙台市の指定文化財に

保存処理された革盾

革盾の復元図

春日社古墳は，太白区の大野田古墳群のなかに位置します。このたび仙台市の指定文化財となったのは，ここから出土した副葬品である革盾，鉄矛，鉄鏃です。

革盾の出土例は，これまで主に近畿地方に集中していましたが，本資料は東北地方唯一の出土例として貴重なものです。また，鉄矛や鉄鏃とともに当時のヤマト政権から権威の象徴として配布された可能性があり，古墳時代におけるヤマト政権と仙台平野の首長層とのつながりを考える上で重要な資料です。

革盾には，黒漆が塗ってあって，
その上に赤と赤紫の顔料を使って
三角形やひし形の模様が描かれていたことが
分かったんだよ！

平成24年度 主な発掘調査予定地

①仙台城跡 追廻地区（青葉区川内追廻）

青葉山公園整備事業に伴う調査を行います。

調査地点は，当時の絵図から白石城主であった片倉氏の屋敷地だったことが分かっています。

調査では，片倉氏の屋敷に関わる遺構や遺物が発見される可能性があります。

③伊古田遺跡（太白区大野田）

富沢駅周辺土地区画整理事業に伴う調査をしています。

以前の調査では，40cmを超える大きさの縄文時代の土偶が見つかっています。

②六反田遺跡（太白区大野田）

富沢駅周辺土地区画整理事業に伴い３箇所の調査を予定しています。

調査では，古代の掘立柱建物跡や竪穴住居跡が発見される可能性があります。

④大野田古墳群（太白区大野田）

富沢駅周辺土地区画整理事業に伴う調査です。大野田地区では，これまでに44基もの古墳が見つかっていて，当時の古墳の広がりが分かってきました。調査予定地からは、古墳時代の竪穴住居などが発見されるかもしれません。

与兵衛沼窯跡で奈良時代の瓦窯跡を発見しました！

この発掘調査は，東日本大震災の影響により与兵衛沼の水を抜いたところ，沼底から瓦を焼いた窯跡が発見されたため行なわれたものです。

調査は５月初旬から約１ヶ月間行い，工房跡と考えられる竪穴遺構を１軒，瓦を焼いた窯跡を 13 基発見しました。６月３日（日）には遺跡見学会を催し，市内や県内外から約 250 名の方々にお越し頂きました。

竪穴遺構の中央部には，丸瓦を南北方向に敷き並べた排水施設が見つかりました。状態が良い窯跡からは，多くの瓦片に混じって「偏行唐草文」という文様の軒平瓦の破片が出土しました。

遺跡見学会の様子

ヨヘエクン

工房跡の中央に排水施設があります

出土した偏行唐草文軒平瓦の破片

窯跡は，天井部分が削られた状態で発見されました

この文様の瓦は，陸奥国分寺跡（若林区木ノ下）・尼寺跡（宮城野区宮千代ほか）、陸奥国府多賀城跡（多賀城市）などでも出土しており、奈良時代（8 世紀中頃）のものと考えられます。

今回調査した場所からは，陸奥国分寺・尼寺の創建の頃の窯が発見され，丘陵頂部の新堤地区では貞観の大地震で被害を受けた多賀城や陸奥国分寺・尼寺を復興するための瓦窯跡が発見されています。このことから，現在の与兵衛沼周辺には 100 年以上に亘って窯が造られ、丘陵全体に広がっていることがわかりました。

文／化／財／レ／ス／キ／ュ／ー

震災から一年が経ちました。しかし，被災した文化財はまだまだたくさんあります。文化財せんだい 100 号（平成 23 年７月発行）で紹介した文化財レスキューですが，仙台・文化財サポーター会のボランティアさんたちを中心に活動を継続中です。今年度も被災した石巻文化センター等の遺物の洗浄作業を行っています。

2012 年 2 月 18 日
石巻で被災した縄文土器破片の洗浄を行って
仙台・文化財サポーター会　赤石成子さん

縄文という文化に生きた人々の生活，営み，手の温もり，息づかいを感じ，愛おしくもありました。東日本大震災という予想もしなかった大きな災害，不幸の傷あとに心痛み，また今後も見舞われるで可能性のある予知ができない災害への不安は消えることはありません。命ある限り生きていく中で歴史に真摯に向かい，敬意をはらい，知ること，学ぶことが大切であることを強く学習しました。

出前授業・出前講座受付中!!

市内には約 780 か所もの遺跡（昔の人々の生活の跡が残っている場所）や 301 件もの指定・登録文化財があることをご存知ですか??

市内で発掘された土器や瓦など，本物の資料を見たり，実際に触ったりしながら，専門の職員や文化財教諭が地域の歴史について分かりやすくお話します!!

身近な地域の“本物の歴史”に触れてみませんか!?

《テーマ例》

出前授業

①感じ取ろう，縄文時代！（石器体験などの縄文体験）
②郡山官衙（古代の役所跡）と陸奥国分寺
③地域の歴史を知ろう！（身近にある遺跡や町名の由来について）
など

出前講座

①ふるさと仙台の歴史をたどって
②陸奥国分寺はなぜこの地に建てれらたのか
③遺跡からさぐる災害の歴史
など

文化財関連のイベント情報が届きます

【仙台市メール配信サービス】

パソコンから登録！

① 仙台市 SENDAI CITY ホームページ を開いて メール配信サービス をクリック！

② 「登録方法」にある 登録ボタン を押して パソコン or 携帯電話のアドレスとパスワード を入力！

携帯電話から登録！

① ml@sendai-mail.jp に空メールを送信か
下のＱＲコードを読み取ります。

② 「仙台市メール配信サービス登録のご案内」のメールが届きます。

③ ＵＲＬから登録画面に進み，パスワードを入力！

会員登録完了のメールが届きます。
「各種イベント」
を選び，登録作業を行います。
メール配信希望項目の
登録完了のメールが届きます！

こんな情報を配信します

- 遺跡見学会の実施日時や場所
- 文化財課関連行事等の開催期間や場所，展示内容について　　などなど

遺跡見学会など最新の文化財関連の情報は仙台市のホームページで!!

〈再生紙を使用しています〉